「地元の酒蔵」

やなさん（ペンネーム：機械科３９年卒業）

年の暮れになるといつも実家への帰省と大晦日の昔のお酒の事が思い浮かびます。
今回はこれを紹介します。
２０２６年の４月には恒例の同窓会「機械科部会全体会・懇親会」が企画されています。
懇親会場は既に予約してありますが、会員への案内資料作成に忙しい毎日です。
案内封筒の宛先印刷は従来ラベル印刷をして張り付けていたのですが、費用と作成時間を節約する為、今回は封筒に直接差し込み印刷をすることにし、Word アプリを使って印刷することなど新しい手法も勉強しながら苦労しながらも楽しんでいる昨今です。

さて話は変わり、この関東機械科部会の同窓会の企画として、各人の最寄りの酒蔵で作られる日本酒を持ち込む事があります。
昨年の全体会・懇親会では現在の佐久市岩村田・中込界隈から通学していた同級生が、私たちの高校の名前が「上田千曲高等学校」であることから、長野県佐久市長土呂にある酒蔵の日本酒「千曲錦」を持ち込みました。
今回は私の番で武重酒造の「御園竹」を持ち込む事になりました。

この酒蔵は私の生家佐久市協和の近くある佐久市茂田井という所にあります。ここはビール・ホップの産地としても有名な地域でした。
先日、同級生の T 君が、「おい、あんたの生家の近くにある日本酒・御園竹を造っている酒蔵を知っているか？すごく歴史のある酒蔵なんだぞ！！」と話してきました。
改めてネット検索をしてみる、と歴史のある有名な酒蔵・日本酒であることが分かりました。

先ずこの「御園竹」についての故人の父親と二人の兄との想い出を書いてみます。
独身の20代の頃、私は毎年暮れになると、当時の地名「長野県北佐久郡協和村比田井」に帰省し、大晦日と新年を家族と一緒に過ごしました。

父と二人の兄貴は既に故人ですが当時、３人と私は年越しの夕食が終わると、この御園竹を飲みながら囲碁対局をするのが恒例でした。この日本酒の飲み方がユニークだったのです。この時期の協和村比田井の気候はかなり寒く酒は熱燗で飲みます。徳利で熱燗にするのは面倒なので、やかんで熱くし、魔法瓶にいれておき、大きい湯のみ茶碗で各人が注ぎ飲む。実に4人で、明け方になるまでにはー升瓶２本位は空けていましたね。

囲碁の対局は4･5局を行いました。当時の私はまだ囲碁初心者（へぼ碁者）で勝率はひどい物でした。それにしてもよく飲んだものです。

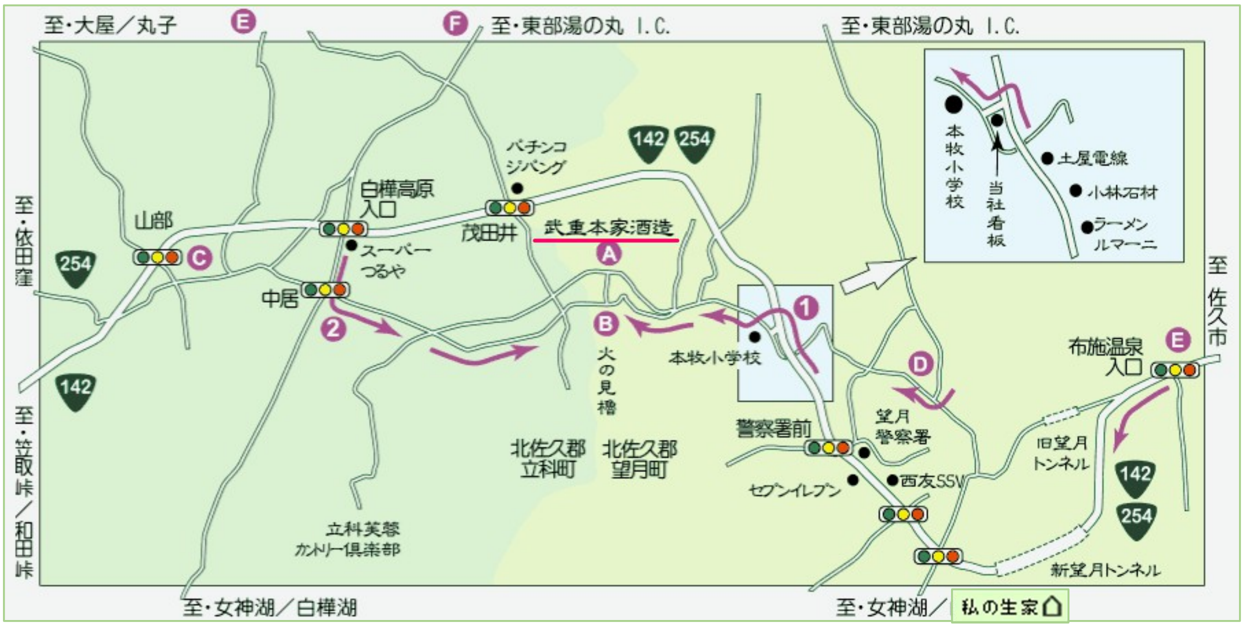
次はこの酒蔵についてネット検索した内容です。
これら資料の引用は出典元を明記すれば使用 OK とされていましたので紹介します。
地図は少々古いようですが、大体わかります。 私の生家の位置を追記しました。

この酒蔵は国登録有形文化財に指定されており各界の著名人が多く訪れています。歴史上の人物では、歌人若山牧水もこの酒蔵を訪れ酒を嗜んだそうです。その記念碑があり、酒名「牧水」もあります。
更に、この酒蔵の社長の経歴がすごいですね。
代表取締役社長 武重有正氏（武重本家第 16 代）は東京大学工学部精密機械工学科卒業。工学博士。（私はこのゲームを知らないのですが）アーケードゲーム「平安京エイリアン」開発メンバーの一人だそうです。又、日本酒メーカーとして日本で初めて自社でホームページを作成し紹介した方だそうです。（出典 https://takeshige-honke.jp/）
****
武重本家酒造（茂田井宿）概要です。武重家は江戸時代前期に茂田井に土着した武重本家酒造･住宅旧家で明治元年（1868）より武重徳左衛門（武重家12代当主）が酒造業を創業しています。
建物は中山道沿いに建っている東蔵、西蔵、門長屋、店が江戸時代後期に建てられ、酒造業が伸びるに従い敷地奥に増築し明治、大正、昭和初期に建てられた座敷や茶室、土蔵などが軒を連ねています。
主屋は明治42年（1909）に建てられたもので、木造2階建、切妻、桟瓦葺、塗屋造り、建築面積236㎡。奥座敷は江戸時代後期に建てられたもので木造平屋建て、切妻、桟瓦葺き、建築面積93㎡、建替え前の古い建物です。離れは大正時代に建てられたもので、木造2階建、切妻、桟瓦葺、桁行5間半、梁間4間半、建築面積88㎡。武重本家酒造･住宅は江戸時代から大正時代にかけての町屋建築の遺構です。

茂田井宿の町並みの景観の重要な要素となり「国土の歴史的景観に寄与しているもの」との登録基準を満たしている事から平成12年（2000）に敷地内にある建物群、主屋（明治42年）･奥座敷（江戸時代後期）･文庫蔵（明治45年）･味噌蔵（明治45年）･東蔵（江戸時代後期）･門長屋（江戸時代後期）･店（江戸時代後期）･西蔵（江戸時代後期）･中門（明治42年）･井戸小屋（昭和初期）･屋敷神（昭和5年）･屋敷神鳥居（文政10年）･東塀（明治42年頃）･離れ座敷（大正時代）･茶室（大正時代）･深井戸水槽（大正時代）･離れ石垣塀（大正時代）･1号蔵（江戸時代末期）･2号蔵（明治時代中期）･3号蔵（明治時代後期）･4号蔵（大正6）･蔵（大正11年）･武重本家酒造･住宅旧細工小屋（大正時代）･前殻ビツ（明治時代後期）･後殻ビツ（大正時代）･枯倉（昭和初期）･炭小屋（明治42年）･南蔵（昭和初期）

・もみ蔵（昭和初期）・旧精米所（昭和初期）、30棟が国登録有形文化財に登録されています。
又、大正14年（1925）には若山牧水が武重本家を訪れ酒を嗜んだとされ若山牧水歌碑が建立されています。

★【よき酒と　ひとのいふなる御園竹　　けふ飲みつ　よしと思えり】
★【しらたまの　歯にしみとおる秋の夜の　酒はしずかに飲むべかりけり】
★【ひとの世に　たのしみ多し然れども　　酒なしになにのたのしみ】



****

長年実家の近くに、この様な有名な場所があるとは知りませんでした。私の生家望月にはそのほか書道家で有名な「比田井天来記念館」、街並みが保存されている「中山道望月宿」更に神輿・火祭りで有名な「榊祭り」などがあります。
是非その地に行ってみたいものです。皆さんの所にも、酒蔵ではなくても、意外と知らなかった、有名な場所があるかもしれませんね。
年明け4月の同窓会・懇親会が楽しみです。皆さん良いお年をお迎えください。では又。